

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
税務会計論Ⅱ	共通	3・4年生・後期	2	選	木下 勝一
履修の前提条件	「会計学入門」、「会計学総論」、「簿記」、「財務会計論」を履修済みか、同程度の簿記会計の知識を有すること。また、前期開講の「税務会計論」を履修していること。				
授業概要 (Course Outline)					
本授業科目は、法人税法の仕組みを理解したうえで、法人税の対象である課税所得の計算体系について講義する。このため、財務会計と税務会計の計算構造の有機的な関係について、平易に解説する。法人税の課税所得計算は、基本的に、企業の自主経理を尊重するかたちであるため、財務会計の決算を前提にした計算体系に基づいている。これは、確定決算主義と呼ばれるものであるが、本授業では、この計算体系について、益金・損金の個別項目を具体的に解説する。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				○
	情報リテラシー Information Literacy				○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
本授業は、法人税法のなかで課税所得の概念が企業の利益概念とどのような関係として規定されているかについて、計算体系として比較して理解することを目標としている。また、本授業は、税理士試験科目の、「財務諸表論」、「法人税法」の基礎を学ぶための入門学習である。					
事前学習の内容	毎回の授業の終わりに次回の指定テキストの講義範囲を指示するので、前にテキストを読んでおくこと。				
事後学習の内容	毎回の授業のなかで、指定テキストのキーワードを指示するので、自宅学習の際に復習すること。適宜、授業のなかで、キーワード自習の確認を行う。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
本授業の内容について、課題レポートを作成することを指示するので、指定日時に、ワープロ文書のレポートを提出することを義務づけます。また、授業の進展に応じて、重要な専門用語についての確認小テストを実施し、受講生の理解度をチェックするとともに、対話型の解説を行う。さらに、本授業に対するコメントカードを配布するので、質問、疑問、意見等々について、積極的な発言を期待します。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
問い合わせ、相談等は研究室(455)において、随時受け付けます。また、オフィスアワーは、月曜日4限目、火曜日2限目ですが、事前にメール(kinoshita@kiis.ac.jp)で照会してください。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 日本商工会議所簿記検定試験3級の受験を奨励します。また、試験合格の結果を成績評価の際に考慮します。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、指定日時に、木下までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	税務会計論Iの概説		
第2回	税務資産会計(続き) 有価証券		
第3回	税務資産会計(続き) 繰延資産		
第4回	税務負債会計 引当金		
第5回	税務資本会計 準備金		
第6回	税務資本会計 資本金・欠損金		
第7回	税額の計算 税額控除・申告		
第8回	税務収益(益金)の会計 受取配当金		
第9回	中間テストー専門用語の理解度テスト		
第10回	連結会計と連結納税		
第11回	同族会社の行為計算否認		
第12回	国際課税		
第13回	移転価格税制		
第14回	タックスヘイブン対策税制		
第15回	税務会計論Iのまとめ		
第16回	定期試験等		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
法人税法会計論	高沢修一	森山書店	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験40%、中間試験(20%)、課題レポート(20%)、確認小テスト(10%)、平常点(10%)を総合して評価する。キーワード自習の確認は平常点のなかに含める。			